

キリンビバレッジ 2018年11月販売概況レポート

1. キリンビバレッジ社

カテゴリー	前年比
清涼飲料合計	101%

- ・ 清涼飲料市場全体は単月前年比 103%となった。
- ・ 当社は単月前年比 101%で着地。
- ・ 生茶は、量販チャンネルが約3割増と好調に推移して単月前年比 108%
- ・ 午後の紅茶は、暖冬の影響によりホット商品が伸び悩んだが、主力4品（ストレート、ミルク、レモン、おいしい無糖）が堅調で、単月前年比 102%
- ・ ファイアは、挽きたて微糖が微減で推移したものの、CVS チャンネルでのアイテム数減少に加え、自販機チャンネルにおいても販売が伸び悩み、単月前年比 79%
- ・ 健康・スポーツ飲料は、「アミノサプリC」、「キリンラブズスポーツ」、「iMUSE レモンと乳酸菌」が寄与し、単月前年比 115%
- ・ 炭酸飲料は4月のリニューアル以降好調に推移している「キリンレモン」と、6月に発売した「ニューダースパークリング/スパークリングレモン」が寄与し、単月前年比 130%

以上